

この冬は暖冬と言われてきましたが、この数日来は平年並みの寒さが続いていました。冷たい北風が吹く朝でしたが、相変わらず大勢の参加者で里山の家は大盛況でした。先月の予告通り、2月の観察会は恒例の敷こぎをして歩き、久しぶりにたくさんの距離を移動しました。

里山の家での持ち込み観察項目：コノテガシワの枝

今日の目的は敷こぎなので、できるだけ寄り道を少なくしたいけれども途中見つけた生きものについてはみんなでも共有しようとの声かけがありました。最初に一人の参加者の案内で、**八重と一重の花が同じ木に咲いているウメ**を観察しました。一重のウメの木に八重の木を接ぎ木しているからでした。**タラヨウ**の木の下では「ハガキの木」という別名があり、郵便局の前に植えてあることも多いと紹介されました。



八重のウメの花



一重のウメの花



タラヨウ

池に一羽のサギが来ていました。脚を小刻みに動かして池底の生きものを探しているようでした。やがて飛び立ったその脚の黒い色によって**チュウサギ**とわかりました。池の中には**ニホンアカガエルの卵塊**がいくつもあり、そのうちの一つを**カップ**に移して触ってみました。この日見つけた卵塊の数は全部で16でした。



チュウサギ



ニホンアカガエルの卵塊



アカガエルの卵を触ってみる

子どもが池に張った氷を取り出しました。湿地の日陰にできた**霜柱**を見て懐かしいとの声が聞かれました。中道沿いにたまった**落ち葉**の中を子どもたちが歩き、足が見えなくなっちゃったと言って笑っていました。



池に張った氷を持つ子



霜柱



落ち葉の中を歩く子

せせらぎ沿いの木の割れ目では**ヨコヅナサシガメの幼虫**が集団で折り重なるようにして越冬していました。道端に毛深い鞆に入った**マメ科の植物の実**が落ちていて、ニセアカシアの実ではないかと話しましたが、調べてみるとニセアカシアの鞆には毛がないことがわかりました。この日は行く先々に冬に活動するガの仲間、**シロフフユエダシャク**のオスが見られました。メスは翅が退化して夜に活動するそうです。



ヨコヅナサシガメの幼虫



マメ科の植物の実



シロフフユエダシャク

間伐された「子どもドングリの森」の前でその成り立ちの説明を聞きました。2006年に子どもたちが拾ったドングリの実生の苗を2008年に移植して以来管理され、間伐材はほだ木等に利用されているとのことでした。その奥の**コシダ**が群生する斜面を登りきった広場で**アカマツ**の松脂を観察しました。その樹皮を子どもたちが剥がすのを見て、一人の参加者が幹の成長によって外側の古い樹皮が剥がれていくことを説明しました。坂を下りきった所で**オオバヤシャブシ**の木を見上げると、**実と雄花**が青空をバックに美しい造形を見せていました。女の子が拾った朽ち木の中に**シロアリ**が数匹見つかリ、**頭部の茶色い兵アリ**、**全身白い働きアリ**の2種類がいました。



斜面を登る



コシダの群落



アカマツの松脂



アカマツの樹皮を剥がす



オオバヤシャブシの実と雄花



シロアリの兵アリ(右)と働きアリ

続いて**カワセミ**の巣穴を観察しました。切り立った崖状の場所に営巣するのは、へびに登って来られないためとのことでした。再び藪こぎに戻り、一昨年まで長年にわたって葉や花の数などを記録し続けてきた**ヒメカンアオイ**を見に行きました。周囲は一面ササに覆われて、ヒメカンアオイには全く日光が届かない状況でした。事前にササの一部を刈って観察しやすくされており、花はいくつか確認できましたが、葉は多くが黒くしおれて無残な姿になっていました。その後久しぶりに訪れたハンノキ池では遠目に**カワセミ**の姿を見ることができました。



カワセミの巣穴



ヒメカンアオイの花



カワセミ

つどいの丘の**コウバイ**は早くも花のピークを過ぎているようでした。最後に観察した大坂池近くのハンノキは枝が払われていましたが、**ミドリシジミ**の卵はいくつか発見できました。この日の藪こぎでは特大の**ゴミ袋**を2つ持って行きましたが、**レジャーシート**や**空き瓶**などがたくさん見つかリ、2袋では足りないほどでした。



コウバイ



ミドリシジミの卵



集められたゴミ

久しぶりに長い距離を歩きましたが、子どもたちも元気いっぱい冬の森歩きを楽しめたようでした。

平和公園での観察項目(観察順)：八重のウメの花、一重のウメの花、タラヨウ、チュウサギ、ニホンアカガエル、鳥に食べられたオオカマキリの卵鞘、池に張った氷、霜柱、落ち葉、マメ科の植物の実、シロフユエダシャク、カラタチ、アカマツ、アカマツの松脂、オオバヤシャブシ、シロアリ、ヤモリ、カワセミの巣穴、カワラタケ、ヒイラギナンテン、ヒメカンアオイ、サルノコシカケ、ムネアカハラビロカマキリの卵鞘、コガタズメバチの越冬女王バチ、ハンノキ地、池の取水口、カワセミ、キノコ、ツヤアオカメムシ、ミドリシジミの卵、集められたゴミ